

集合住宅嫌いのための集合住宅

1160119 南庄 真那

指導教員 渡辺 菊真

高知工科大学 システム工学群 建築・都市デザイン専攻

1. 背景

1-1. わたしと集合住宅

集合住宅での生活に嫌気が差したのは、いつからだろうか。私は、生まれた時から今まで集合住宅にか住んだことがないにもかかわらず、集合住宅があまり好きになれなかった。



写真 1.2：わたしが高校までを過ごした集合住宅

私が集合住宅を好きになれなかった一番の原因として、隣人との距離が近すぎるということが挙げられる。廊下やエントランスで隣人とすれ違う時の気まずさ、ベランダに出たときに感じる隣人の気配、大きな物音を立てないように気を使う生活。どこにいても隣人を感じる集合住宅での生活に、窮屈さを感じていた。

1-2. 戸建住宅への想い

一方で、私は戸建住宅に住まうことに強い憧れを抱くようになった。戸建住宅に憧れている点としては、以下のことが挙げられる。

- ・隣人とのほどよい距離感
- ・家を出たら、すぐに地面がある
- ・自分の家の屋根を持っている
- ・ベランダではなく、庭がある
- ・室内に専用階段を持っている

しかし、各住民が好き勝手にデザインした戸建住宅が統一感なく並ぶ光景に対しては、賛成し難いとも感じていた。

1-3. 集合住宅・戸建住宅の比較

憧れていた戸建住宅であったが、はたして戸建住宅に住まうことが本当に良いのだろうか。そして、嫌いだった集合住宅にメリットはないのだろうか。集合住宅と戸建住宅について比較した。^{*4}

価格が安いのは？ → 集合住宅

同じ床面積であれば、戸建住宅を購入するよりも安い。

生活音に気遣う必要がないのは？

→ 戸建住宅

集合住宅は、隣や上階の騒音に悩まされる場合がある。

庭があるのは？

→ 戸建住宅

2階建て以上の集合住宅の場合、庭はなくベランダとなる。

家のすぐ外で安全な遊び場を提供しやすいのは？

→ 集合住宅

戸建住宅の前にある車道よりも集合住宅の敷地内の方が、比較的安全である。

近隣住民と付き合いやすいのは？

→ 戸建住宅

建設の効率がよいのは？

→ 集合住宅

例えば、断熱材を全面に入れる必要がないため。

省スペースであるのは？

→ 集合住宅

集約的に住まえるので、土地を不要に食い潰さない。

好条件の住居・土地を見つけやすいのは？

→ 集合住宅

都心の良い立地条件の場所では、なかなか土地を見つけられない。

1-4. 集合住宅×戸建住宅

上記のとおり、どちらにもメリットがあり、デメリットがある。双方の良さを併せ持ち、双方の課題を克服するような住宅を実現することは、はたして可能なのだろうか。

2. 目的

本設計では、集合住宅と戸建住宅の良さを併せ持ち、新しいカタチの集合住宅を提案したい。具体的には、合理的に建設できる集合住宅と自分の領域が獲得できる戸建住宅の良さを双方を持った集合住宅を設計する。

3. 選定敷地

本設計の計画敷地は、高知県香美市土佐山田町神母ノ木にある「県営住宅鏡野団地」を選定した。



写真 3：「県営住宅鏡野団地」の上空写真*5

2階建てメゾネットタイプの集合住宅を持つ団地であり、戸建住宅の要素を持つ接地型集合住宅である。また、適切な隣棟間隔があるため、各住戸に十分な日照が確保できている。



写真 4,5：「県営住宅鏡野団地」の情景

しかし、老朽化が進む鏡野団地では近い将来、建て替えの必要がある。そこで、鏡野団地の新築案として60世帯の住戸と集会所を設計する。現在持つ戸建住宅的な要素、適切な隣棟間隔は継承しつつ、更に合理的に建設可能で、自己の明確な領域を獲得できるように計画する。

4. 設計

4-1. 指針

- I. 戸建住宅の自己領域性を持つ集合住宅
- II. 建築環境工学に配慮した接地型集合住宅
- III. 共用の安全な庭・遊び場になる外部空間の創出

4-2. 手法

指針 I 「戸建住宅の自己領域性を持つ集合住宅」を達成するために、以下の手法を応用する。

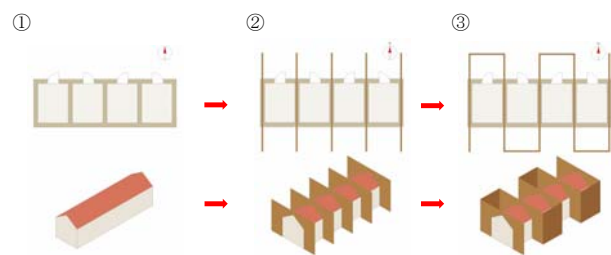
「二段階供給方式：

集合住宅などでも自由な間取りや仕上げができるよう、躯体と内装とを分けて供給しようとする住宅供給制度方法」*6



写真 6,7：本来の二段階供給方式*7

本来は、『一段階目に不動の躯体を供給し、次の段階で可変性のある間仕切りなどの内装を供給すること』を指すが、本設計では『一段階目に不動の集合住宅を供給し、次の段階で可変性のある外ルーバーを供給すること』とする。



①集合住宅（4世帯）の平面図・アイソメ図。

②隣人との距離感を保つための南北方向のルーバーを設置。

③更に、通行人からの視線を和らげる東西方向のルーバーを設置。

図 2：ダイアグラム「ルーバー」

集合住宅であるので、同じ床面積の戸建住宅よりも低価格で提供することが可能である。ルーバーによって隔てられた集合住宅で、住民は隣人との距離感を保ちながら生活できる。

4-3. 建設プロセス

「プロセス0

既存県営団地」

現在の「県営住宅鏡野団地」の配置図。各住戸の庭に車を置くために、団地内の道は車が通れる広さとなっている。また、中央には敷地を貫くように通路がある。敷地北側から奥まで見通すことができ、同じような集合住宅が並んでいる様子がうかがえる。



図3：全体配置図 兼 1F平面図

「プロセス1 更地化」

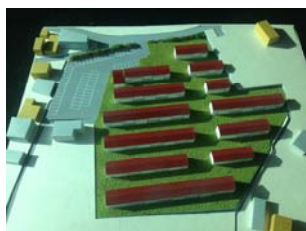
鏡野団地内の集合住宅の老朽化が進む。新たに集合住宅を建設するために、一度敷地を更地にする。



「プロセス2

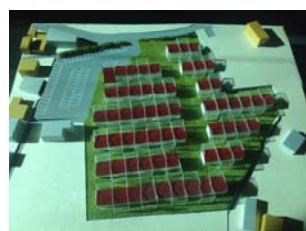
団地復活？」

以前と同じ世帯数の集合住宅を配置する。集合住宅を平行かつ等間隔で配置することで、建設の更なる効率化を図る。指針Ⅱを達成するため、十分な断熱と適切な通風が得られるようにする。



「プロセス3 変身」

建設された集合住宅に横からスライドさせるようにして、ルーバーをはめ込んでいく。団地によくある形の集合住宅がルーバーの設置によって一気に姿を変える。



①集合住宅

集合住宅の配置は、既存の集合住宅の隣棟間隔を継承し、冬期に日射が室内に入るようにした。夏期の日射は、軒によって室内に入ることを防ぐ。また、十分な断熱材を壁に入れることでより快適な室内環境を目指す。

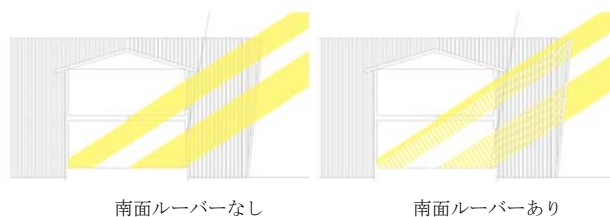


図4：冬期日射計画

敷地中心を通る歩行者専用通路は、団地内ということを感じさせず、周辺の戸建住宅群と同じイメージとするためにあえて曲線とした。施工の簡易さのため、すべての集合住宅を平行に配置している。



写真8：曲線の通路

4-4. 設計内容

また、集合住宅は既存と同じく一世帯が2階建てのメゾネットタイプを採用した。これにより、集合住

宅でありながら、戸建住宅のような感覚で住まうことができる。1階に水回りとダイニング、2階にリビングを配置した。リビングの南側の壁は、ほぼガラス張りでありながら、人の目を気にすることなく生活することができる。また、2階中央に吹抜を設けることで1階南面窓から2階北面窓への通風を図る。



写真 9：集合住宅内部

②ルーバー

ルーバーの種類は、間隔が狭いものと広いものの2種類とした。ゆらゆらとルーバーとの間を縫うように移動することで、集合住宅の片廊下が持つ人となれ違う時の気まずさを緩和させる。

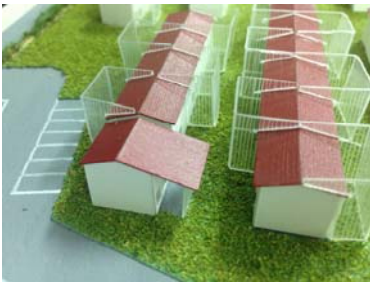


写真 10：ルーバーに挟まれた通路

住民たちは、ルーバーで囲まれたプライベートな庭を獲得し、隣人の目を気にすることなく自由に過ごすことが出来る。

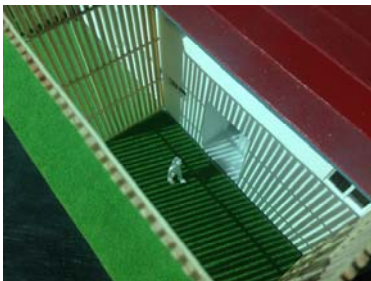


写真 11：ルーバー内部

③駐車場

以前は、各住戸の庭に車を停めていたが、計画敷地の北西に住民共通の駐車場を設けた。これにより、庭

のスペースが十分に確保される他、集合住宅間は歩行者専用通路とすることができる。これにより「鏡野団地」の敷地内は、子供たちにとって安全な遊び場となる。



写真 12：駐車場

④集会所

ルーバー付きの集合住宅の外観を損なわず、それでいて周りの集合住宅とは少し異なる外観となるようにした。



写真 13：集会所

5. まとめ

ルーバー付きの集合住宅で、隣人とのほどよい距離感を保ちながら生活する空間が提案できた。また、既存「県営住宅鏡野団地」の集合住宅としてのメリットや建築環境工学的な利点を保持しつつ、「鏡野団地」の持つ戸建住宅的要素を更に引き出すことができたのではないだろうか。更に、子供たちが安全にのびのびと遊べる外部空間も提示できた。結果として、集合住宅嫌いな私でも住みたいと思えるような集合住宅が設計できたと考える。

6. 参考文献

- *1 無印良品の家「住まいのコラム」(2015/10/19 取得)
http://www.muji.net/mt/ie/column/tsubuyaki_100608.html
- *2 google マップ「高知県香美市土佐山田町神母ノ木」(2015/10/19 取得)
<https://www.google.co.jp/maps/@33.6160814,133.7168414,18z>
- *3 建築用語.net「二段階供給方式」(2015/10/19 取得)
http://www.architectjiten.net/ag13/ag13_1425.html
- *4 建設ポータルサイト「スタイルシフトウォール」(2015/10/19 取得)
http://www.kensetsu-plaza.com/new_products/post/5321